

ことのは

岡崎市立常磐小学校
校長 岡村 直美



8月27日始業式、転入生1名を迎え、在籍児童179名で2学期をスタートしました。「おはようございます」と挨拶をしながら、校舎に入っていく姿を見ることができ安心と共に嬉しい気持ちになりました。ご家族や地域の方々に見守られ、それぞれの過ごし方で夏休みを終え、こうして再会できたことに感謝しております。ありがとうございます。

学校生活のリズムに慣れ、友達や仲間と一緒に様々な経験が積めるよう取り組んでまいります。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

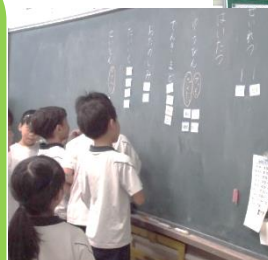


「草がいっぱい生えてるね」「小さいゴーヤがまだあるよ」はなはな学級の畑ではサツマイモやゴーヤ、ラッカセイにツルムラサキが大きく育っています。みんなで抜いた雑草はコンテナ一杯分にもなりました。肥料の置き方を聞いた後、葉をかき分けて根元に肥料をあげていました。大事に育てています。

保健室の掲示板上には学校生活の中で起きそうな「あっあぶない」という場面「危険を予測せよ!」を紹介しています。互いに安全に生活していけるよう考えます。下段はくつひも結びの体験コーナーです。



「新しいカードがあるよ」「折り紙で箱を作ろうよ」2学期最初の長い休み時間（青空タイム）の直前に雨が降り始め、室内で過ごしました。常磐っ子わくわくひろばにある英語ALTのジョイ先生が作ったカードを思い思いの色で塗って掲示しています。「本、かえしまあす」おとぎの部屋（図書室）では早速委員会活動中です。部屋の開施設錠や、貸し出し返却活動など責任をもって行っていて感心します。



2学期になり、心機一転、係決めをしていました。「並ばせ係がやりたかったんだ。二人だけなんだけど、なれたから、がんばる」係や当番活動の経験は、過ごしやすい学級にしているために、一人一人ができる事を学べる機会。学級の一員としての自覚にもつながります。

自由研究の掲示が始まりました。理科や社会、関心をもってのことなど様々です。取り組んだことを学級で伝える時間を計画している学級もあります。



大きな地震や局所的な線状降水帯の発生などを報道で知ると、「どう、身を守るのか」を学び考える必要性を強く感じます。「あいち そうぐるみ シェイクアウト訓練（9月1日）」もあり、始業式の日に、地震発生後に火災発生、校舎外への一次避難を想定し避難訓練を実施しました。在校中、登下校中、子供たちだけで在家中、公園で遊んでいる時など、まず、自分の命を守る行動「あおはしち」や、備えられる準備について今後も伝えていきたいと思います。



「水がないと困るよね」「夏と冬だと欲しい物は違うんじゃない?」持ち出し袋に何を入れておきたい?と聞いてみました。「暑いから冷えピタあるといい」「トランプとか?だって避難所で、ずっと何する?」なるほど、確かに。持ち出し袋は、必要不可欠な水と食料品、季節に合った衣服や履物に加え、常備薬などを含め背負える重さでの準備が必要そうです。また、ローリングストックの防災食を平時に食べ、経験することで命をつなぐ備蓄品準備に役立つそうです。

資源回収へのご協力ありがとうございました。資源を運ぶ子供たちに「ありがとうございます」「ご苦労様」と声をかけていただき、誰かの役に立つ嬉しい経験ができていたのかな、と感じました。今年も敬老会に向けて、常磐小学校全児童が書いた手紙をお一人ずつにお渡しできるよう、準備しています。

